

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
内部障害系理学療法評価学演習		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
甘利 貴志 他	D320	takashi.amari	金曜日 16:00~17:00		
授業の目的・概要	講義を通して内部障害理学療法に関連する疾患の知識およびその評価方法を習得する。疾患の病態生理を理解し、適切な理学療法評価を選択・実施できるようにすることを目的とする。内容は内部障害理学療法に関連する評価法の知識及び実施方法について講義を行う。				
学習上の助言	これまでの内科学・解剖学・生理学・運動学の知識も必要となるので復習してから授業に臨むこと。				
教科書	ビジュアルレクチャー内部障害理学療法第2版 / 編：高橋 哲也 / 医歯薬出版株式会社 / 2017				
参考書	病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版 MEDIC MEDIA 病気がみえる vol.2 循環器 第4版/MEDIC MEDIA 病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝内分泌 第4版/MEDIC MEDIA 病気がみえる vol.4 呼吸器 第2版/MEDIC MEDIA				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	内部障害疾患を呈する患者の理学療法評価に必要な基礎知識を説明できる。			PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
②	内部障害理学療法に関連する疾患についての評価を理解し、説明することができる。			PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
③	内部障害理学療法に関連する疾患の治療プログラムを適切に選択することができる。			PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	内部障害理学療法学の総論について学ぶ。 「担当：甘利」	講義	内部障害の疾患について内科学の復習を行う。	1	
2	循環器疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。 「担当：甘利」	講義	循環器疾患の理学療法について教科書と授業プリントで確認する。	3	
3	循環器疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ 「担当：甘利」	講義/実技			
4	模擬症例を用いて循環器疾患患者の評価結果の解釈を学ぶ。 「担当：甘利」	GW			
5	腎不全・腎臓病の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。 「担当：大塚」	講義	腎不全・腎臓病の理学療法について教科書と授業プリントで確認する。	3	
6	腎不全・腎臓病の理学療法評価とリスク管理について学ぶ 「担当：大塚」	講義/実技			
7	模擬症例を用いて腎不全・腎臓病患者の評価結果の解釈を学ぶ。 「担当：大塚」	GW			
8	代謝性疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。 「担当：甘利」	講義	代謝性疾患、腎不全・腎臓病の理学療法について教科書と授業プリントで再確認する。	3	
9	代謝性疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ 「担当：甘利」	講義/実技			
10	模擬症例を用いて代謝性疾患の評価結果の解釈を学ぶ。 「担当：甘利」	GW			
11	呼吸器疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。 「担当：川内」	講義	呼吸器疾患の理学療法について教科書と授業プリントで再確認する。	3	
12	呼吸器疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ 「担当：川内」	講義/実技			
13	模擬症例を用いて呼吸器疾患患者の評価結果の解釈を学ぶ。 「担当：川内」	GW			
14	グループワークの内容をまとめ発表を行う。 「担当：甘利」	講義	教科書とこれまでの授業プリントを確認する。	1	
15	内部障害理学療法学の総復習を行う。 「担当：甘利」	講義	教科書とこれまでの授業プリントを確認する。	1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する（筆記試験、70%）。試験では授業で使用したプリント、教科書の内容を基にした問題を出題し、理解度の確認を行う。				必要に応じて解答を提示し、解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	授業で取り扱った模擬症例を一つ選択し、発表を行う（発表 30%）。なお発表はグループで行う。				質疑応答の時間を設け、総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：甘利 貴志、大塚 篤也、川内 翔平</p> <p><b>教員の実務経験：</b>総合病院で心疾患及び腎疾患患者のリハビリテーションに従事。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>講義を中心にグループワークを取り入れつつ内部障害を対象とした理学療法の基礎的知識及び評価の説明を行う。</p> <p>*実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。</p> <p>*全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。</p> <p>問題がある場合は面接授業の参加は認めない。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。</p>							